

ロジスティクスがマーケティングを変える！

－考えてみよう、日本の流通 2025－

主 催：一般社団法人流通問題研究協会

日 時：2017年10月17日(火) 午後1時15分～5時

会 場：機械振興会館6階6D-4会議室

●ご挨拶 (13:15～13:30)

一般社団法人 流通問題研究協会 会長 玉生 弘昌

I. 講演 (13:30～15:00)

「変化する日本の流通」－産業構造の変化と小売業態の崩壊、中間流通の役割－

(株)ジャパン・インフォレックス 代表取締役社長 西田 邦生 氏

日本の社会構造の大きな変化の中で、日本の流通業がどの様に変化し、将来に向かってどのように改革をしていくべきかについて「正しい現状認識」と「変化の本質」を整理したうえで、改革の方向性についてご提案をいただきます。これまでのキャリアを通じて西田さんが考える、日本らしい流通のあり方と中間流通が果たす役割についてもお話をいただきます。

講師プロフィール：早稲田大学政治経済学部卒業後、国分に入社。経営統括室部長、取締役グループ企業統括本部長、廣屋国分（現・首都圏国分）代表取締役社長を経て、(株)ジャパン・インフォレックス代表取締役社長に就任、現在に至る。早稲田大学アジア太平洋研究センター特別研究員、コーネル大学リテールマネジメント・プログラム・オブ・ジャパン講師を歴任され、多摩大学大学院経営情報学研究科客員教授として学生の指導にもあたっている。

II. 講演 (15:15～16:45)

「アマゾンが揺るがす日本の流通」－生き残るための【3つの鍵】－

(株)イー・ロジット CEO 兼 チーフコンサルタント ^{かくい}角井 亮一 氏

角井先生の著書の中に「アマゾンは、高度なロジスティクスを用いて低コスト化を実現し、その利益のほとんどを自社の物流ネットワークを築くための投資に回し、顧客の代弁者として更なる低価格で商品提供のための原資として使う。この繰り返しを良循環としてアマゾンは単なる通販企業から巨大なグローバル企業に変貌を遂げた。」という一文があります。そして、アマゾンの本質は「ロジスティクス・カンパニー」だと規定されています。アマゾンの登場で物流を取り巻く環境が大きく変わり、あらゆるビジネスに影響を与える可能性が見えています。アマゾンが日本の流通に及ぼす影響と、それと競い合うための戦略を「アマゾンと物流大戦争」の著者に語っていただきます。

講師プロフィール：1968年生まれ。上智大学経済学部を3年で単位修了し、渡米。米ゴールデンゲート大学でMBA取得。帰国後、船井総合研究所に入社。小売業のコンサルティングを多数行う。その後、家業の物流会社、光輝物流に入社。2000年2月14日、(株)イー・ロジットを設立し、代表取締役に就任。イー・ロジットは、現在約230社以上から通販物流を代行する国内ナンバーワンの通販物流会社であり、会員企業を中心とした物流人材教育研修や物流コンサルティングを行っている。『物流が分かる』『オムニチャネル戦略』（共に日経文庫）、『アマゾンと物流大戦争』（NHK出版）など著書多数。

III. まとめ (16:45～17:00)

